

英語貴族とは

英語ペラペラ

自分が言いたいことを英語でペラペラ話することができる

英語の学習が続く

英語の学習がラクラク続く

毅然とした態度で

わからないときは、わからないと英語で毅然と言える

話のリードをとれる

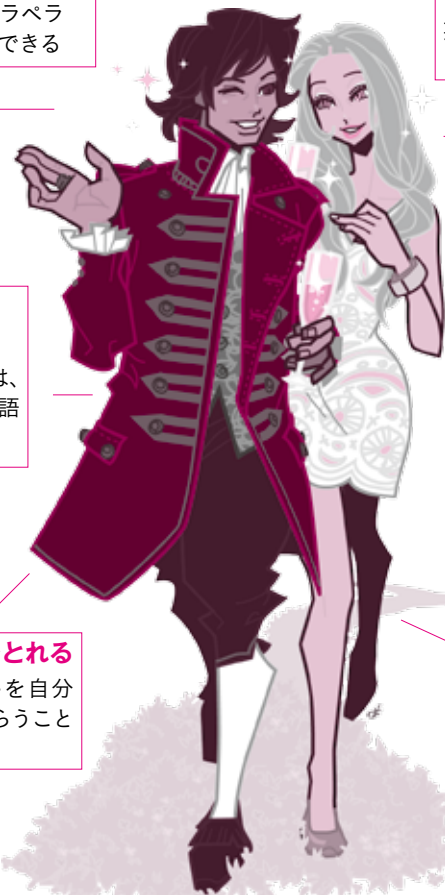
英語のレベルを自分に合わせてもらうことができる

常に堂々と

突然、英語で話しかけられても堂々と受け答えできる。むしろ話かけちゃう

外国人も口説ける

もちろん、外国人の異性にもモテる！



英語難民とは

なんて言っているかわからない

自分が言いたいことを英語でどう表現したらいいかわからない

英語の学習が続かない

英語の学習がツラくて続かない

突然、話しかけられたらパニック

突然、英語で話しかけられるなんて、無理！逃げちゃう

とりあえず Yes

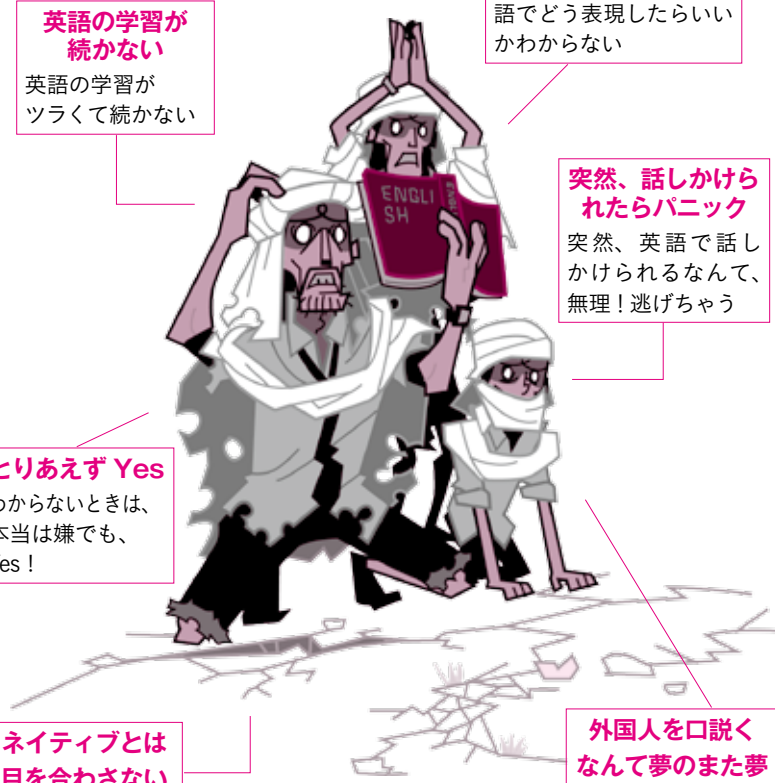
わからないときは、本当は嫌でも、Yes！

ネイティブとは目を合わせない

ネイティブには、極力近づかないようにする。
“話しかけないで”オーラ全開！

外国人を口説くなんて夢のまた夢

もちろん、外国人の異性にもモテない！



はじめに



先日、ある講演会に行きました。メインスピーカーは日本の政策に深く関わる女性です。スピーチはすべて英語でした。

彼女は、きちんとした英語を使っていらっしゃいました。彼女の発音やアクセントがネイティブ並みというわけではありません。むしろ、生粋の日本人の発音、アクセントでした。けれども、短い文章で、適切な単語を選んで話していたので、彼女の英語は、100パーセント聴衆に伝わっていました。

「なぜ、この問題はこうなのでしょう？ - なぜならば……だからです」

「〇〇とはどういうことでしょうか？ - すなわち、それは……ということです」

ネイティブのように流れるように話している、というわけではありませんでしたが、Q&Aのパターンをうまくスピーチに取り入れて、日本人スピーチの弱点を巧みにカバーしていました。

質疑応答のパートになったときにも、会場から寄せられる質問に一つひとつ答えるのではなく、いくつかをまとめて、的確にポイントを絞って話していました。また、要領を得ない外国人からの質問に対しても、

「**To sum up, what is your question?**」（つまり、あなたの

質問はなんのでしょうか？）とズバリ切り込んで聞いていき、このプレゼン全体を見事に仕切っていました。

これが私の考える英語貴族です。自分の伝えたいことを100パーセント相手に理解させ、相手の言うことも100パーセント理解できる、つまり英語を通じたコミュニケーションが100パーセントとれる。彼女はそのスキルを見事に使いこなした英語貴族でした。

彼女の発音やプレゼンの仕方を見て、彼女は帰国子女ではなく、自分で苦労を重ねて英語貴族になった方だなと思いました。そして同時に、私はある言葉を思い出していました。

「**Your English is excellent! Tell me why your English is so good.**」（一体全体どうして、あなたの英語は“ずば抜けて”いいんだい？）

これは、世界最大の不動産専門家団体のアジア事務局長であるオーストラリア人が、私に言ったセリフです。私は帰国子女でもない、英語圏に長く住んだ経験もない、と答えると、彼はより一層驚いて、「大したものだ！」と目を丸くしました。

このオーストラリア人と同じように、私はたくさんの日本人から、「ユキーナさんみたいに英語が話せる人がうらやましい」と言われます。そして、「私は本当に英語で苦労したのよ、最初から今みたいに話せたわけではなくて、できなくて、で



はじめに...4

序章 本書の構成...11



英語貴族が教える日々英語に親しむ方法

- 1 コミュニケーションがきちんとできる、それが英語貴族...18
- 2 外国人なんか少しもコワくないわ 英語貴族は「雪の女王」! ...26
- 3 脱・発音コンプレックス! 大事なのはあなたが話す中身...32
- 4 私の英語力を劇的に向上させた、英語難民玉砕体験...36
- 5 こうして私は英語難民から脱却して、貴族への第一歩を踏み出した...42
- 6 英語貴族の基本認識「英語は勉強ではなくスポーツ」...46
- 7 「趣味・楽しみ」を英語とドッキング! これなら日々英語に親しめる...56
- 8 英語学習継続のカギは満面の笑顔...68

1章まとめ...73

コラム①英語がスポーツである理由...74



英語貴族になる基礎トレーニング

- 1 英語難民は知識の肥満体質! アスリート体型への変身が必要...76
- 2 ストック中心の英語難民、フロー中心の英語貴族...80
- 3 脂肪の多い「英語肥満体質」から代謝のいい「英語アスリート体質」へ...88
- 4 吸収した知識を効率よく燃焼! サプリとフローを身につける...94
- 5 骨格がいかに大切か? 筋の通ったバランスの良い英語貴族になる! ...110
- 6 無駄な文法知識はいらない、SV時制条件反射集中トレーニング...118
- 7 日本人の最大弱点、ワードチョイスを克服する...128
- 8 ネイティブに教わることは必要か? 真剣さとお金の関係...138

2章まとめ...145

コラム②生活のすべては英語になる...146



外国人なんか 少しもコワくないわ 英語貴族は「雪の女王」!



1. 話せない理由の一つは、外国人恐怖症

本書の「はじめに」でもお伝えしましたが、英語貴族の特徴に「**ネイティブとの会話を仕切る!**」というテクニックがあります。ここでは、これを具体的にお話します。

多くの英語難民の人は、ネイティブの前に出ると、とたんに凍りついたように固くなってしまい、何を言っているかわからなくなってしまう、ということが多いようです。

リスニングの練習を繰り返しているにも関わらず、ネイティブを前にすると、とたんに心臓がバクバクしてしまい、「質問に答えられなかったらどうしよう!」という恐怖感に襲われて相手の話に集中できないという悩みもよく聞きます。

私自身がかつて英語難民であったときにそうだったので、こうしたネイティブとの実際の会話での悩みは、本当によくわかります。こうした経験を繰り返していると、外国人と話すことが本当に苦痛になり、外国人恐怖症に陥ってしまいます。



2. あなたは相手の英語をコントロールできる

さて、この外国人恐怖症の悩みを解決するために、ユニークな例をご紹介します。

最近話題になったディズニー映画『アナと雪の女王』（原題 Frozen）を多くの方がご覧になったと思います。これはある国に生まれたお姫様の話です。彼女は、触るものすべてを氷にしてしまう、という超能力を持って生まれたため、自分の力に驚き、おののいています。彼女の力は恐れ (fear) を感じるとますますパワーアップし、氷のバリエーションを増やせるようになるまで増長されてしまいます。

彼女は周りの人を傷つけることを恐れて、「**Stay away from me!**」（私に近づかないで!）とひたすらに自分の殻に籠ってしまいます。しかし、彼女の妹の献身的な愛情によって、この女王は自分の力をコントロールすることを学び、周りの人を傷つけることがなくなっていき、というのがこの映画のあらすじです。

ここには、英語難民が外国人恐怖症を解決するための重要なヒントが含まれています。

それは「**コントロール**」です。「コントロール」とは、何も相手を自分の意のままにしようというわけではありません。英会話における「コントロール」とは、相手の言っていることがわからなければ、「**Excuse me, can you please repeat that?**」（わかりません、もう一度言ってください）と相手に伝えることです。こうすることで、話し手の話す英語レベルを、聞き手がコントロールできるのです。

序章
英語に親しめる!

第1章
英語に親しめる!

第2章
100%伝える英語の
身につけ方

第3章
スピーチ
トレーニング

付録
SV
時制条件反射
トレーニング



私たち日本人は英語を母国語としていないわけですから、英語の聞き取りや会話に慣れていないのは当たり前です。特にネイティブとの会話では、合わせているのは日本人の側なのです。

「聞き直る」というと誤解があるかもしれませんが、相手の言語を使って、コミュニケーションをとろうと譲歩しているのは、こちらなのです。ですから、「英語のレベルを聞き手に合わせる努力は当然ネイティブの方でしてください」というのは、ノンネイティブからの当たりの要求だと思うのです。

「**Sorry, I don't understand what you said.**」(すみません、今の言葉はわからないのですが……)

「**For example?**」(たとえば、どういうことですか?)

「**So anyway, tell me what I should do.**」(結局、私は何をすればいいのでしょうか?)

このように、こちらの意思をクリアに伝え、相手に英語の話し方、表現の仕方を工夫させましょう。

「英語貴族」とは、このコントロール方法を覚えた人のことです。**相手の英語を自分のレベルに合わせる**ことができる、つまり、コントロールすることができれば、きちんとコミュニケーションがとれます。自分の意思を伝えることができ、相手の意思もわかってきます。

「自分は相手の英語をコントロールできる!」と思えば、自然に話し手である外国人に対する恐れがなくなってきます。



3. 外国人恐怖症とはオサラバ!

恐れがなくなれば、リラックスして相手との会話に集中し、自分の言いたいことにフォーカスできますので、よりコミュニケーションがスムーズになります。

そうなってくると普段の自分のトレーニングの成果が発揮できるので、コミュニケーションが、よりキチンととれるようになり、英語を話すこと自体が楽しくなります。

この『アナと雪の女王』の中で私が最も好きなシーンは、不思議な能力を持った女王が、一人山に籠って、思う存分、自分のパワーを全開させるシーンです。

「**I'll try to see what I can do!!**」(私は自分の力を見てみたいの!)と言って、彼女は空に氷の橋をかけ、その向こうに素晴らしい氷の宮殿をつくります。

「**I don't care what they are going to say!!**」(他の人が私の能力について何か言ったって、構わないわ!)と言って、クリスタルの支柱をよきよきつくっていきます。

「**Here I stand, here I stay!**」(私はここに立っている、ここにいるのよ!)と言って床を踏み鳴らし、雪の結晶を見事に埋め込んでいきます。

このシーンのサビとも言えるセリフは「**The cold never bothers me anyway!**」(寒さは平気よ、寒くたって気にし

序章
英語に親しめる!

第1章
英語に親しめる!

第2章
100%伝わる英語の
身につけ方

第3章
スピーチ
トレーニング

付録
SV
制限条件
反射
トレーニング





ないわ!) でしょう。

英語貴族にとっては、「**Natives never bother me anyway!**」(ネイティブなんか平気よ!) と言い換えられる部分ではないでしょうか？

「ネイティブが私の周りを取り囲んでも平気! だって、コントロールできるんだもの」、これが英語貴族のスタンスです。

「わからない単語も、聞けない発音も気にしないの。だって私のレベルに合わせて頂戴!、そう伝えればいいんだから」

この態度でいきましょう。これで外国人恐怖症とは、見事にオサラバできます。

 英語貴族	相手の英語のレベルを自分に合わせてもらう
 英語難民	外国人を前にすると何も言えなくなってしまう

- 序章 こうすれば日々英語に親しめる!
- 第1章 こうすれば日々英語に親しめる!
- 第2章 100%伝わる英語の身につけ方
- 第3章 スピーチトレーニング
- 付録 SV時制条件反射トレーニング



繰り返しお伝えしたいのです。

英語を勉強だと思っ**て**はいけません。勉強だと思**え**ば思うほど、上達するコツがわからず、泥沼にはまってしまう。

英語ができるようになりたいければ、この「英語は勉強するもの」という概念を捨てることです。これをスパッと捨てて、「**そうだ、英語はスポーツなんだ!**」と認識を改めなければなりません。英語難民の多くの人々がここに気づかないために、時間と労力とお金を無駄にしています。



2. 「聞く」「話す」「読む」「書く」は一体!

より具体的に説明していきましょう。

まず、英語を「学習」している人は「聞く」「話す」「読む」「書く」のどれかにフォーカスしています。特に英語難民の人は、まずは聞き取れるようになりたい、あるいはつかえながらでもとにかく話せるようになりたい、とリスニングやスピーキングの強化を目指すことが多いようです。

しかし、何度も言いますが、英語はスポーツです。この一部の能力にフォーカスするという姿勢は、野球にたとえるならば、素振りの練習ばかりしているようなものです。バッティングというスポーツはないのです。

野球ができるようになりたい、レギュラーになりたいと思うなら、走り込みや素振りなどの基本的なトレーニングと並

英語難民



「聞き取れるようになりたい」と「聞く」に特化してトレーニングしている

英語貴族

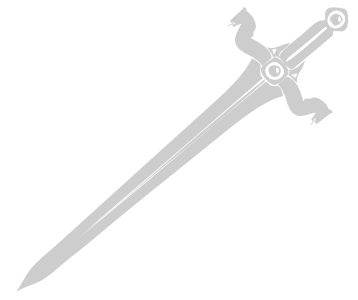


「話す」「聞く」「書く」「読む」を1つのものとしてバランスよくトレーニングしている

- 序章 本書の構成
- 第1章 英語貴族が教える「日々英語に親しむ方法」
- 第2章 英語貴族になる基礎トレーニング
- 第3章 必ず英語貴族になれる! スピーチトレーニング
- 付録 SV時制条件反射トレーニング



ストック中心の英語難民、 フロー中心の英語貴族



1. 知識たくわえ型と有効活用型

多くの日本人は、両親が日本人で、日本で生まれ、日本語を話す環境で育った人々だと思います。

こうした日本人が中学に入ってから英語を習い始めます。基本文法や基本単語からはじまって、教科書に載っている様々な表現を通じて、英語の「知識」を増やしていきます。そして、中学の3年間で英語を勉強し、後は受験勉強として、試験に出る英単語、試験に出る文法、イディオム、英文和訳という「勉強」を繰り返していきます。

かつてやった「勉強」を通じた「知識」の習得を振り返ってみましょう。ネイティブから英語を直に聞く機会があったのでしょうか？ 自分の言いたいことを英語にする、それが正しく伝わるかチェックする、そのような練習ができたでしょうか？

ほとんどの学校では、このようなコミュニケーション能力を重視した英語教育は行われていないでしょう。日本の英語教育に問題があるのです。

多くの日本人はこの問題のある受験英語の延長を、黙々と永遠に繰り返しているのです。英語難民から脱出できないのです。

「受験英語」と「コミュニケーションのツールとしての英語」の違いを下記に表にしてみました。

	受験英語 (英語難民のスタンス)	コミュニケーションの ツールとしての英語 (英語貴族のスタンス)
英語とは何か？	勉強科目の一つ、試験に向けて暗記する	勉強ではない、スポーツ、身体能力を鍛えるもの
焦点を当てるスキル	聞く、話す、読む、書く、のどれかにフォーカス	すべては一体のもの、聞く、話す、読む、書くはバランスよく、総合的に鍛える
何を重視するか？	英文和訳、試験に出る文法、単語、イディオム	実践で必要最小限の文法(SV時制条件反射)、適切なワードチョイス
点数化、差別化	上記知識をいかにたくさん覚えているか？ という知識の量	実戦を通じて、コミュニケーションができるか、言いたいことが100%伝わるか？ 相手の言いたいことがわかるか？
英語レベルの把握方法	知識の量が増える、英語試験の点数が上がると自分の英語力がアップした気持ちになる	英語の実戦を通じてチェック、自分の伝えたい内容が理解されたか、相手の言うことが理解できたか、これを判断の指標にする

実際のコミュニケーションの場で、受験英語のスタンスがどれほど役に立つかというと、はっきり申し上げてほとんど役に立たないのです。

序章 本書の構成

第1章 英語貴族が教える 第1章 英語貴族が教える 第1章 英語貴族が教える 第1章 英語貴族が教える 第1章 英語貴族が教える

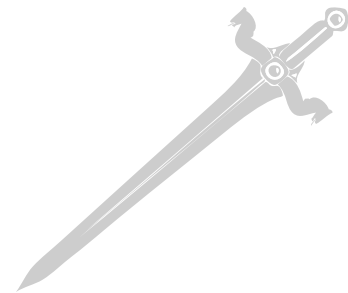
第2章 英語貴族になる 基礎トレーニング

第3章 必ず英語貴族になれる？ ステートトレーニング

付録 SV時制条件反射 トレーニング



無駄な文法知識はいらない、 SV時制条件反射 集中トレーニング



1. 文法のキモはSVの対応と時制の一致

日本人の英語難民の人に、「英語の文法の何が難しいですか？」と尋ねると、みなさんが決まってこう答えます。

「前置詞がわかりません。ユキーナさん、何が **on** で、どれが **of** で、**in** と **at** がどう違うとか？ それがわかりません！」

このような方に、私はいつも大声で、こう申し上げています。「本当に重要な文法は、そんなところではありません！文法のキモは他のところにあります！」

その他のところとは、ズバリ、**SVの対応と時制の一致**です。前置詞を少し間違えたくらいで、意味が伝わらないということはありません。しかし、この主語と動詞の対応関係、そして時制の使い方が間違っていると、本当に意味が伝わらないのです。

SVの一致とは、主語と動詞のきちんとした対応関係です。英語には、「**この主語には、この動詞が対応している。この主語を持ってきたら、動詞はこの形にしなければいけない**」というルールがあります。ですので、この対応関係がバラバラだと、ルールに沿って主語と動詞を判別することができないのです。



2. ラテン文法に見る、SV対応関係の重要性

英語の元になっているラテン系言語の構造を見てみると、SV、主語と動詞の対応関係が、いかに大切かがよくわかります。ラテン系言語の一つ、イタリア語の基本動詞の活用を見てみましょう。

andare (アンダーレ：行く) という動詞は、主語の人称と単数・複数によって、次のように活用します。「私は行く」は「(io) vado」(イオ・ヴァード)、主語が複数の「私たちが行く」は「(noi) andiamo」(ノイ・アンディアーモ)、「あなたが行く」は「(tu) vai」(トゥ・ヴァイ)、これも主語が複数になる「あなたたちが行く」だと「(voi) andate」(ヴォイ・アンダーテ)と動詞がまったく違う形になります。

三人称になり、「彼が行く」は「(lui) va」(ルイ・ヴァ)ですが、三人称複数の主語「彼らが行く」とときには、「(loro) vanno」(ロロ・ヴァンノ)と動詞の形が変化していきます。このように、同じ「行く」という動詞でも、一人称、二人称、三人称でまったく形が変わります。そして、単数と複数でも、想像もつかないような活用変化をしていきます。

動詞の活用がこれほど違うので、イタリア語では主語を言いません。主語をいちいち話さなくても、動詞を言えば、誰

序章
本書の構成

第1章
日々英語に親しむ方法
英語貴族が教える

第2章
基礎トレーニング
英語貴族になる

第3章
必ず英語貴族になれる？
スリーチートトレーニング

付録
SV時制条件反射
トレーニング



日本人の最大弱点、 ワードチョイスを克服する



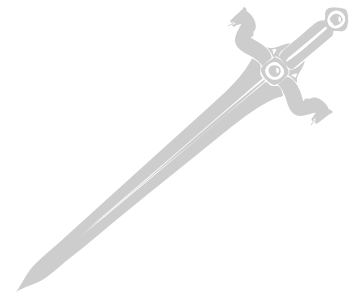
1. エッセイ添削で実感、英語難民最大の弱点

第1章でもお話ししましたが、英語難民時代の私がつくった英語の文章を添削するとき、ネイティブ講師ジェフ先生は「**Your biggest problem is word choice.**」(あなたの最大の欠点はワードチョイスです)と言いました。そして私のエッセイの中で具体的にどの個所がいけないのかを述べていったのです。

本書で度々取り上げているこのワードチョイスですが、その意味するところは、「このシチュエーションでこの内容を伝えたいのに、この単語を使っている。本当は別の単語を使わなければいけないのに」という単語の選び方の問題点です。

ジェフ先生いわく、私のエッセイでのワードチョイスは不適切なものが多く、表現が「**awkward**」(ぎこちない)というのです。

たとえば、と言いながら、ジェフ先生は、私が自分のこれまでのキャリアについて説明している個所を指さしました。「ユキーナさん、ここでは、**responsible for** を使っているけれど、このJ社の資産評価プロジェクトにあなたが実際に携わったという意味だよ。あるプロジェクトに実際の担当者として関わり、仕事を仕上げたというなら、英語では **be involved in** という言い方をしなければいけない。**responsible**



for はある事柄や分野、収益や費用に責任がある、ということの意味するよ。だから、これだとあなたが社長で全責任を負ったという意味になってしまう。でも、実際はそんなことはないのだから、何を伝えたいのかははっきりしない。これを見た学校側は『あなたは何が言いたいのだろう』と疑問に思うだろう。**involve** を使えば、実際に自分が関わった仕事という意味になる。あなたの言いたい内容はこのように言い換えた方がいい」

これを聞いた瞬間、私は俄然、反対したい気持ちになりました。私の知識では、「**involve**」は「含む」という意味です。「プロジェクトに含まれる」ということなら、自分は単なるお手伝い程度の役割で、自分が中心になってしっかりプロジェクトを指揮していったという意味にはならないのでは？と疑問に思ったので、私はジェフ先生に「違う、違う。この計画を手伝ったのではなく、私が中心になって最初から最後まで仕上げたの。そういう意味を伝えたいのよ」と口をとがらせて訴えました。

その私の顔をマジマジと見据えて、ジェフ先生は「だから、そういう意味だけれど……。この **involve** はそういうときに使う表現なんだけれど」とキョトンとした顔で言いました。「どうしよう、困ったな。ジェフ先生には私の伝えたい内容がわかっていないのではないか」というフラストレーションを抱えたまま、私は不承不承、自分のエッセイを「**be**

序章
本書の構成

第1章
英語難民が教える
日々英語に親しむ方法

第2章
英語貴族になる
基礎トレーニング

第3章
必ず英語貴族になれる？
スリーチートニング

付録
SV時制条件反射
トレーニング

初対面の外国人との会話、
使えるフレーズを覚えましょう。

和訳を見て、()内にあてはまる適切な英語表現を選択肢の中から選んでください。

Q1 I usually () to avoid miscommunication.
(私は誤解をさけるため、普段はゆっくり話します)

ワードチョイスヒント!

話すはspeakです。talkは人に何かを語る時、tellはある情報を相手に話すときに使います。

正解 I usually **speak slowly** to avoid miscommunication.

一言メモ 英語を話すことに慣れていない場合、最初に相手にこのフレーズを言っておくと、あなたの話す英語がたどたどしくても、相手もあなたもさほど気にならなくなります。「My English is poor!」はあまり使わないようにしましょう。

Q2 I hope ().
(あなたが気にしてくれなければいいのですが)

ワードチョイスヒント!

「気にする」はmindを使います。

SV時制チェック!

Sはyou、Vはmind、時制Tは今あなたが気にするかしなにか心配しているので現在です。

正解 I hope **you don't mind**.

Q3 Please () when you feel ().
(もっと説明が必要だと思ったら私に教えてください)

ワードチョイスヒント!

「教えてください」はlet me knowと言います。teachは語学などの知識を教えるときに使いますが、このようなシチュエーションでの「教えてください」には使いません。

SV時制チェック!

SはI、Vはexplain、「～するべき」はshouldを頻繁に使います。

正解 Please **let me know** when you feel **I should explain more**.

一言メモ 「ゆっくり話します」と言っていますので、もし私の言うことが(あまりにも遅くて)わかりにくかったら言ってくださいと宣言しておけば、「すぐに返答しなければ!」というプレッシャーもなくなりますし、相手に対しても親切です。

Q4 How () so far?
(日本の印象はどうですか?)

- a) has you found Japan
- b) do you feel Japan
- c) have you found Japan
- d) has it found you Japan